



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和8年度

国営土地改良事業地区調査

南薩地区事業計画書補足その他業務

積算書

(当初)

九州農政局
南部九州土地改良調査管理事務所

事業名	国営土地改良事業地区調査					
業務名	南薩地区事業計画書補足その他業務					
業務別業務名:南薩地区事業計画書補足その他業務						
コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S16001	*** S単 - 1号 *** ライトバン[ガソリンエンジン駆動] ライトバン[ガソリンエンジン駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L 運転1日当たり算出,機械損料等のみ,		日	3,200		歩A・単A
S63003	*** S単 - 2号 *** 1-2. 既存資料の把握・整理 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,1.00人,3.00人,3.00人,2.00人		式	482,300		歩A・単A
S63003	*** S単 - 3号 *** 2. 施設整備計画の取りまとめ 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,7.00人,10.00人,10.00人		式	1,395,800		歩A・単A
S63003	*** S単 - 4号 *** 3. 長寿命化計画の見直し 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,7.00人,13.00人,13.00人,13.00人		式	2,321,400		歩A・単A
S63003	*** S単 - 5号 *** 4-1. 土地改良事業計画書補足検討 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,5.00人,5.00人,7.00人,7.00人		式	1,326,600		歩A・単A
S63003	*** S単 - 6号 *** 4-2. 事業計画書補足説明資料の更新 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,7.00人,15.00人,35.00人,30.00人		式	5,749,300		歩A・単A
S63003	*** S単 - 7号 *** 5-1. 河川協議資料補足検討 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,7.00人,15.00人,15.00人,13.00人		式	2,505,000		歩A・単A
S63003	*** S単 - 8号 *** 6. 照査 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人		式	212,700		歩A・単A
S63003	*** S単 - 9号 *** 7. 点検取りまとめ 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人		式	532,300		歩A・単A
S63007	*** S単 - 10号 *** 1-1. 現地調査 設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,3.00人,3.00人,0.00人,3.00人,0.00人		式	528,000		歩A・単A
S63007	*** S単 - 11号 *** 基準日額(現地調査) 設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,1.00人,0.00人		式	176,000		歩A・単A
S63010	*** S単 - 12号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.76日		回	168,210		歩A・単A
S63010	*** S単 - 13号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.76日		回	140,994		歩A・単A
S63024	*** S単 - 14号 *** 業務報告書作成(その他) 業務報告書作成(その他) 1,A-4以下,1000,1,A-4以下,薄手(黒文字入)		式	17,600		歩A・単A
S63034	*** S単 - 15号 *** 旅費交通費(設計外業務泊用) 旅費交通費(設計外業務泊用) ライトバン,1日,4時間		式	12,117		歩A・単A
T00001	*** T単 - 1号 *** 打合せ(旅費・交通費) 着手前・最終		回	13,545		歩A・単A
T00002	*** T単 - 2号 *** 打合せ(旅費・交通費) 中間		回	13,545		歩A・単A

事業名	国営土地改良事業地区調査
業務名	南薩地区事業計画書補足その他業務

業務別業務名: 南薩地区事業計画書補足その他業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
S16001	ライトニング[ガソリンエンジン駆動] ライトニング[ガソリンエンジン駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L 運転1日当たり算出 機械損料等のみ		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	1)機械コード 単位が時間のみ 2)機械コード (同上)	M28121 M28121		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	3)機械損料算出区分 4)運転1日当たり運転時間(T)	運転1日当たり算出 6.0時間		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	5)運転日に対する供用日の割合(YC) 6)単価計上区分	1.19 機械損料等のみ		深夜時間:0.0		
	7)岩石補正区分 10)燃料消費量(入力の場合)	岩石補正なし 0.0				
	11)消耗部品の計上の有無 13)消耗部品費の適用条件(2)	消耗部品を計上しない 消耗部品なし				
	14)名称(消耗部品) 15)規格(消耗部品)	- -				
M28121	ライトニング[ガソリンエンジン駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1,000	日	3,200	3,200	
	合計				3,200	算出数量 1,000 各単位
	単価		各単位		3,200	
Y00001	単位					
	*** S単 - 2号 ***					
S63003	1-2 既存資料の把握・整理		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,1.00人,3.00人,3.00人,2.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	1.00人 1.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	3.00人 3.00人				
	7)技術員の数	2.00人				
R04003	主任技師	1,000	人	70,900	70,900	
R04004	技師(A)	1,000	人	62,600	62,600	
R04005	技師(B)	3,000	人	49,300	147,900	
R04006	技師(C)	3,000	人	42,500	127,500	
R04007	技術員	2,000	人	36,700	73,400	
	合計				482,300	算出数量 1,000 式
	単価		式		482,300	
	*** S単 - 3号 ***					
S63003	2 施設整備計画の取りまとめ		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,3.00人,7.00人,10.00人,10.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	1.00人 3.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	7.00人 10.00人				
	7)技術員の数	10.00人				
R04003	主任技師	1,000	人	70,900	70,900	
R04004	技師(A)	3,000	人	62,600	187,800	
R04005	技師(B)	7,000	人	49,300	345,100	
R04006	技師(C)	10,000	人	42,500	425,000	
R04007	技術員	10,000	人	36,700	367,000	
	合計				1,395,800	算出数量 1,000 式
	単価		式		1,395,800	

事業名	国営土地改良事業地区調査					
業務名	南薩地区事業計画書補足その他業務					
業務別業務名:南薩地区事業計画書補足その他業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 4号 ***					
S63003	3. 長寿命化計画の見直し		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,7.00人,13.00人,13.00人,13.00人					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)主任技術者の人数	0.00人				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	2)技師長の人数	0.00人				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)主任技師の人数	3.00人				深夜時間:0.0
	4)技師Aの人数	7.00人				
	5)技師Bの人数	13.00人				
	6)技師Cの人数	13.00人				
	7)技術員の人数	13.00人				
R04003	主任技師					
		3.000	人	70,900	212,700	
R04004	技師(A)					
		7.000	人	62,600	438,200	
R04005	技師(B)					
		13.000	人	49,300	640,900	
R04006	技師(C)					
		13.000	人	42,500	552,500	
R04007	技術員					
		13.000	人	36,700	477,100	
	合計				2,321,400	算出数量 1.000 式
	単価		式		2,321,400	
	*** S単 - 5号 ***					
S63003	4-1. 土地改良事業計画書補足検討		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,5.00人,5.00人,7.00人,7.00人					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)主任技術者の人数	0.00人				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	2)技師長の人数	0.00人				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)主任技師の人数	3.00人				深夜時間:0.0
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	5.00人				
	6)技師Cの人数	7.00人				
	7)技術員の人数	7.00人				
R04003	主任技師					
		3.000	人	70,900	212,700	
R04004	技師(A)					
		5.000	人	62,600	313,000	
R04005	技師(B)					
		5.000	人	49,300	246,500	
R04006	技師(C)					
		7.000	人	42,500	297,500	
R04007	技術員					
		7.000	人	36,700	256,900	
	合計				1,326,600	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,326,600	
	*** S単 - 6号 ***					
S63003	4-2. 事業計画書補足説明資料の更新		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,7.00人,15.00人,35.00人,35.00人,30.00人					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)主任技術者の人数	0.00人				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	2)技師長の人数	0.00人				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)主任技師の人数	7.00人				深夜時間:0.0
	4)技師Aの人数	15.00人				
	5)技師Bの人数	35.00人				
	6)技師Cの人数	35.00人				
	7)技術員の人数	30.00人				
R04003	主任技師					
		7.000	人	70,900	496,300	
R04004	技師(A)					
		15.000	人	62,600	939,000	
R04005	技師(B)					
		35.000	人	49,300	1,725,500	
R04006	技師(C)					
		35.000	人	42,500	1,487,500	
R04007	技術員					
		30.000	人	36,700	1,101,000	

事業名	国営土地改良事業地区調査					
業務名	南薩地区事業計画書補足その他業務					
業務別業務名:南薩地区事業計画書補足その他業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計				5,749,300	算出数量 1.000 式
	単価		式		5,749,300	
	*** S単 - 7号 ***					
S63003	5-1. 河川協議資料補足検討 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,7.00人,15.00人,15.00人,13.00人		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	7.00人				
	5)技師Bの人数	15.00人				
	6)技師Cの人数	15.00人				
	7)技術員の人数	13.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	70,900	212,700	
R04004	技師(A)	7.000	人	62,600	438,200	
R04005	技師(B)	15.000	人	49,300	739,500	
R04006	技師(C)	15.000	人	42,500	637,500	
R04007	技術員	13.000	人	36,700	477,100	
	合計				2,505,000	算出数量 1.000 式
	単価		式		2,505,000	
	*** S単 - 8号 ***					
S63003	6. 照査 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,0.00人,0.00人,0.00人		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	70,900	212,700	
	合計				212,700	算出数量 1.000 式
	単価		式		212,700	
	*** S単 - 9号 ***					
S63003	7. 点検取りまとめ 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師(A)	2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師(B)	2.000	人	49,300	98,600	
R04006	技師(C)	3.000	人	42,500	127,500	
R04007	技術員	3.000	人	36,700	110,100	
	合計				532,300	算出数量 1.000 式
	単価		式		532,300	

事業名	国営土地改良事業地区調査					
業務名	南薩地区事業計画書補足その他業務					
業務別業務名:南薩地区事業計画書補足その他業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 10号 ***					
S63007	1-1. 現地調査		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,3.00人,3.00人,0.00人,3.00人,0.00人					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)主任技術者の人数	0.00人				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	2)技師長の人数	0.00人				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)主任技師の人数	3.00人				深夜時間:0.0
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	3.000	人	70,900	212,700	
R04004	技師(A) 外業	3.000	人	62,600	187,800	
R04006	技師(C) 外業	3.000	人	42,500	127,500	
	合計				528,000	算出数量 1,000 式
	単価		式		528,000	
	*** S単 - 11号 ***					
S63007	基準日額(現地調査)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,1.00人,0.00人					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)主任技術者の人数	0.00人				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	2)技師長の人数	0.00人				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)主任技師の人数	1.00人				深夜時間:0.0
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師(A) 外業	1.000	人	62,600	62,600	
R04006	技師(C) 外業	1.000	人	42,500	42,500	
	合計				176,000	算出数量 1,000 式
	単価		式		176,000	
	*** S単 - 12号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工程,着事前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.76日					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)設計工程	一般工程				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし
	2)打合せ	着事前・最終				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)設計用主任技師人数	1.00人				深夜時間:0.0
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.760日				
R04003	主任技師	1.260	人	70,900	89,334	
R04004	技師(A)	1.260	人	62,600	78,876	
	合計				168,210	算出数量 1,000 回
	単価		回		168,210	
	*** S単 - 13号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工程,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.76日					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし

事業名 国営土地改良事業地区調査						
業務名 南薩地区事業計画書補足その他業務						
業務別業務名: 南薩地区事業計画書補足その他業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	1)設計工種 2)打合せ	一般工種 中間		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数	0.00人 1.00人				
	5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数	1.00人 0.00人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.500日 0.760日				
R04004	技師(A)	1.260	人	62,600	78,876	
R04005	技師(B)	1.260	人	49,300	62,118	
	合計				140,994	算出数量 1.000 回
	単価		回		140,994	
	*** S単 - 14号 ***					
S63024	業務報告書作成(その他)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	業務報告書作成(その他) 1. A - 4以下,1000.1. A - 4以下,薄手(黒文字入)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)報告書焼付部数(部) 2)報告書規格区分	1 A - 4以下		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)原稿枚数区分(枚) 4)表紙部数(部)	1000 1				
	5)表紙規格区分 6)表紙区分	A - 4以下 薄手(黒文字入)				
P43504	報告書焼付代(コピ -) A - 4以下 1000枚	1.000	部	12,700	12,700	
P43454	報告書表紙代 薄手(黒文字入) A - 4	1.000	部	4,900	4,900	
	合計				17,600	算出数量 1.000 式
	単価		式		17,600	
	*** S単 - 15号 ***					
S63034	旅費交通費(設計外業宿泊用)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業宿泊用) ライトバン,1日,4時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)交通機関区分 2)高速道路往復料金(税別)	ライトバン 7,980円		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)鉄道往復料金[全員分合算](税別) 4)バス往復料金[全員分合算](税別)	0円 0円				
	5)船舶往復料金[全員分合算](税別) 6)航空往復料金[全員分合算](税別)	0円 0円				
	7)ライトバン使用日数 8)時間区分	1日 4時間				
	9)宿泊料金[全員分合算](税別) 10)宿泊手当[全員分合算](税別)	0円 0円				
	11)落札率	0.000000				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	7,980	7,980	
M28121	ライトバン(ガソリンエンジン駆動) 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	2,560	2,560	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	10.800	L	146	1,577	
	合計				12,117	算出数量 1.000 式
	単価		式		12,117	

事業名 国営土地改良事業地区調査
 業務名 南薩地区事業計画書補足その他業務

業務別業務名:南薩地区事業計画書補足その他業務

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	*** T単 - 1号 ***					
T00001	打合せ(旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	着手前・最終					
P96300	高速道路料金(往復) 御船IC~谷山IC	1,000	式	7,980	7,980	
S16001	ライトバン[ガソリンエンジン駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L,運転1日当たり算出,機械損料等のみ,	1,000	日	3,200	3,200	S単 1号
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	16,200	L	146	2,365	
	合計				13,545	算出数量 1,000 回
	単価		回		13,545	
	*** T単 - 2号 ***					
T00002	打合せ(旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	中間					
P96300	高速道路料金(往復) 御船IC~谷山IC	1,000	式	7,980	7,980	
S16001	ライトバン[ガソリンエンジン駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L,運転1日当たり算出,機械損料等のみ,	1,000	日	3,200	3,200	S単 1号
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	16,200	L	146	2,365	
	合計				13,545	算出数量 1,000 回
	単価		回		13,545	

令和8年度 国営土地改良事業地区調査
南薩地区事業計画書補足その他業務

特別仕様書

九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総則

第1-1条 (適用範囲)

令和8年度 国営土地改良事業地区調査 南薩地区事業計画書補足その他業務（以下「本業務」という。）の施行に当たっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第1-2条 (目的)

本業務は、国営土地改良事業地区調査南薩地区の一環として、土地改良事業計画書補足検討及び河川協議資料補足検討を行うものである。

第1-3条 (場所)

本業務において対象とする施設の場所は、鹿児島県枕崎市、指宿市及び南九州市地内で別添位置図に示すとおりである。

第1-4条 (土地への立ち入り等)

作業に伴う立木伐採等については共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等を行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

第1-5条 (一般事項)

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- 1 作業実施順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- 2 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- 3 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

第1-6条 (管理技術者)

管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

第1-7条（照査技術者）

- 1 照査技術者は、共通仕様書第1-7条第2項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は、次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

- 2 共通仕様書第1-7条第4項でいう、監督職員が指示する業務の節目とは、次のとおりとする。

- (1) 設計作業着手前の段階
- (2) 施設整備計画資料の取りまとめ段階
- (3) 土地改良事業計画書（案）の取りまとめ段階
- (4) 河川協議資料の取りまとめ段階
- (5) 報告書原稿作成段階
- (6) その他、照査計画作成時において監督職員が指示した場合

- 3 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

第1-8条（担当技術者）

担当技術者は、共通仕様書第1-8条によるものとする。

第1-9条（配置技術者の確認）

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録に当たっては、次によるものとする。

- 1 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- 2 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

第1-10条（保険加入）

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

第2-1条（作業条件）

本業務の実施に当たっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

- 1 作業の実施に当たっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、監督職員及び監督職員が指示する者と十分打合せを行い、手戻りのないよう留意しなければならない。
- 2 本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する事項は、受注者の責任において処理しなければならない。
- 3 現地調査に伴い、施設内に立ち入る場合は、監督職員と打合せを行い、施設管理者と調整を行うものとする。

4 作業上支障となる状態が発生した場合は、監督職員と協議するものとする。

第2-2条（基本条件）

本業務の設計作業における基本条件は、次のとおりである。

1 地区概要

項目	数量等	備考
受益面積	5,792ha（令和7年4月時点）	
整備計画	頭首工（改修）3か所、揚水機場（改修）4か所、加圧機場（改修）5か所、用水路附帯施設（改修）1式 ファームポイント（改修）6か所、水管理施設（改修）1式 その他施設（改修）1式（検討中）	

2 水源施設等（現行水利権）

(1) 河川

水源	最大注水用 取水量 (m ³ /s)	最大予備 取水量 (m ³ /s)	取水制限流量 (m ³ /s)	年間総取水量 (千 m ³)
馬渡川	10.5	3.083	0.05	22,130
高取川	4.5	3.083	0.05	9,460
集川	2.0	2.000	0.08	6,320

(2) 池田湖

1) 有効貯水量：42,500 千 m³

2) 管理水位：EL62.0～66.0m

注水・取水口	最大取水量 (m ³ /s)	備考
東部取水口	0.622	
南部取水口	1.123	
西部第一取水口	3.083	最大予備取水量
西部第一取水口	10.500	最大注水量

第2-3条（参考図書）

設計作業の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるほか、次表によるものとする。

番号	名称	発行所	制定(改訂)年月
1	国営土地改良事業 調査計画マニュアル	(社) 農業土木事業協会	平成6年6月
2	農業農村整備事業計画作成便覧	(株) 地球社	平成15年8月
3	土地改良事業計画設計基準農業用水(畑)	(公社) 農業農村工学会	平成27年5月
4	国営土地改良事業計画書の記載方法	農林水産省農村振興局	令和7年5月

第2-4条（貸与資料等）

本業務における貸与資料は次のとおりである。

番号	貸与資料	数量
1	南薩地区事業誌及び事業成績書、工事完成図	1式
2	平成26年度国営土地改良事業地区調査南薩地区事業計画(案)とりまとめ業務報告書	1式
3	令和5年度地域整備方向検討調査南薩地域とりまとめ業務報告書	1式
4	令和5年度地域整備方向検討調査南薩地域基礎調査業務報告書	1式
5	令和6年度国営土地改良事業地区調査南薩地区用水計画検討その他業務報告書	1式
6	令和6年度国営土地改良事業地区調査南薩地区営農計画及び費用対効果更新業務報告書	1式

番号	貸 与 資 料	数量
7	令和6年度国営土地改良事業地区調査南薩地区環境配慮計画検討業務 報告書	1式
8	令和6年度国営土地改良事業地区調査南薩地区耐震対策検討その他業務 報告書	1式
9	令和6年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業南薩地区施設機能診断調査 他業務 報告書	1式
10	令和6年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業南薩地区施設耐震対策検討他 業務 打合せ資料	1式
11	令和7年度国営土地改良事業地区調査南薩地区事業計画書策定その他業務 打合せ資料	1式
12	令和7年度国営土地改良事業地区調査南薩地区営農計画及び費用対効果更新業務 打合せ 資料	1式
13	令和7年度国営土地改良事業地区調査南薩地区環境配慮計画取りまとめ業務 打合せ資料	1式
14	南薩地区河川協議関係資料	1式
15	気象・水文データ（平成7年～令和6年）	1式
16	業務実施上、監督職員が必要と認める資料	1式

第2-5条（参考図書及び貸与資料の取扱い）

第2-3条、第2-4条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- 1 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- 2 参考図書は、作業時点の最新版を用いることとし、設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- 3 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第2-6条（関連業務）

本業務と関連する他業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図られた設計としなければならない。

番号	業 務 名	業務実施期間
1	令和8年度 国営土地改良事業地区調査 南薩地区費用対効果更新その他業務（仮称）	R8.4～R9.3（予定）

第3章 作業内容

第3-1条（作業項目及び数量）

本業務における作業項目及び数量は、次項の作業項目表のとおりである。

なお、用水計画及び施設整備計画に関係する施設の概要は別紙1「対象施設一覧表」、作業の詳細は別紙2「作業項目内訳表」に示すものとする。

【作業項目表】

作 業 項 目	数量	備考
1. 準備作業	1式	
2. 施設整備計画の取りまとめ	1式	
3. 長寿命化計画の見直し	1式	
4. 土地改良事業計画書補足検討	1式	
5. 河川協議資料補足検討	1式	
6. 照査	1式	
7. 点検取りまとめ	1式	

第3-2条（作業の留意点）

設計作業の実施に際し、特に留意する点は、次のとおりとする。

- 1 設計に当たっては、造成される施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- 2 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- 3 第2-3条、第2-4条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- 4 施工上特に注意する点を特記する必要がある場合には、設計図面に記入するものとする。
- 5 現地調査において著しく機能が低下している施設を発見した場合は、遅滞なく監督職員へ報告するものとする。
- 6 現地調査等施設の状況確認を行う場合は、できる限り施設管理者の同行による意見・助言を受けて実施するものとする。
- 7 詳細な現地調査の必要性については、監督職員と協議するものとする。

第4章 打合せ

第4-1条（打合せ）

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。
また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

- 初回 設計作業着手前の段階
- 第2回 中間打合せ（施設整備計画資料の取りまとめ段階）
- 第3回 中間打合せ（土地改良事業計画書（案）の取りまとめ段階）
- 第4回 中間打合せ（河川協議資料の取りまとめ段階）
- 最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度、内容について監督職員と相互に確認するものとする。

第5章 成果物

第5-1条（成果物）

成果物を共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- 1 成果物の電子媒体（CD-R 若しくはDVD-R）正副2部
- 2 成果物の出力1部（黄色（JIS Z8102：2001に規定する色No.61）表紙、黒文字製本）
なお、報告書の最前部には、本業務の要約版を掲載するものとし、その内容は、別途監督職員の指示によるものとする。

第5-2条（成果物の提出先）

成果物の提出先は、次のとおりとする。

鹿児島県鹿児島市喜入中名町 1000-28
九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所 薩摩支所

第6章 契約変更

第6-1条（契約変更）

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとお

りとする。

- 1 第 2-2 条に示す「基本条件」に変更が生じた場合。
- 2 第 3-1 条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- 3 第 4-1 条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- 4 第 5-1 条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- 5 履行期間の変更が生じた場合。
- 6 関係機関等の対外的協議等により、設計計画等に変更が生じた場合。
- 7 その他

第 6-2 条（業務スライドの試行）

- (1) 本業務は、「建設コンサルタント業務等における賃金等の変動に基づく業務費の変更の取扱いについて（試行）」（令和 7 年 12 月 17 日付け 7 農振第 2167 号農村振興局整備部設計課長通知）（URL 「<https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/attach/pdf/index-256.pdf>」）に基づく試行業務である。
- (2) 発注者又は受注者は、履行期間内で業務契約締結の日から 12 月を経過した後日本国内における賃金水準又は物価水準の変動により業務費が不相当となったと認めるときは、相手方に対して業務費の変更を請求することができる。
- (3) 発注者又は受注者は、(2) の規定による請求があったときは、変動前残業務費（業務費から当該請求時の履行済部分に相応する業務費を控除した額をいう。以下この条において同じ。）と変動後残業務費（変動後の賃金又は物価を基礎として算出した変動前残業務費に相応する額をいう。以下この条において同じ。）との差額のうち変動前残業務費の 1000 分の 15 を超える額につき、業務費の変更に応じなければならない。
- (4) 変動前残業務費及び変動後残業務費は、請求のあった日を基準とし、物価指数等に基づき発注者と受注者とが協議して定める。
ただし、協議開始の日から 14 日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。
- (5) (2) の規定による請求は、この条の規定により業務費の変更を行った後再度行うことができる。この場合において、(2) 中「業務契約締結の日」とあるのは、「直前のこの条に基づく業務費変更の基準とした日」とするものとする。
- (6) 予想することのできない特別の事情により、履行期間内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、業務費が著しく不相当となったときは、発注者又は受注者は、(2) ～ (5) の定めにかかわらず、業務費の変更を請求することができる。
- (7) (6) の場合において、業務費の変更額については、発注者と受注者とが協議して定める。
ただし、協議開始の日から 14 日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。
- (8) (4) 及び (7) の協議開始の日については、発注者が受注者の意見を聴いて定め、受注者に通知しなければならない。
ただし、発注者が (2) 、 (6) の請求を行った日又は受けた日から 7 日以内に協議開始の日を通知しない場合には、受注者は、協議開始の日を定め、発注者に通知することができる。
- (9) 業務スライドの試行に係る運用については、(1) に記載の通知に基づくものとする。

第 7 章 定めなき事項

第 7-1 条（定めなき事項）

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じ

て監督職員と協議するものとする。

別紙 1

【対象施設一覧表】

項 目	工作物の構造又は能力	備 考
【取水施設－頭首工】		
1－1．馬渡川頭首工		
(1) 型 式	基礎形式：フィックスド型 ゲート型式：油圧式自動倒伏堰	
(2) 全可動部	堰長 13.20m 堰高 2.20m	
(3) ゲート型式	油圧式自動倒伏堰	
(4) 寸法径間	13.20m×直高 2.20m	
(5) 門 数	1 門	
(6) 計画取水位	EL=89.70m	
1－2．馬渡川取水口		
(1) 形 式	鉄筋コンクリート造	
(2) 最大取水量	10.5m ³ /sec	
(3) ゲート形式	鋼製ローラーゲート	
(4) 寸 法	B2.40m×H2.40m	
(5) 門 数	1 門	
2－1．高取川頭首工		
(1) 型 式	基礎形式：フィックスド型 ゲート型式：油圧式自動倒伏堰	
(2) 全可動部	堰長 14.00m 堰高 2.00m	
(3) ゲート型式	油圧式自動倒伏堰	
(4) 寸法径間	13.20m×直高 2.20m	
(5) 門 数	1 門	
(6) 計画取水位	EL=81.50m	
2－2．高取川取水口		
(1) 形 式	鉄筋コンクリート造	
(2) 最大取水量	4.5m ³ /sec	
(3) ゲート形式	鋼製ローラーゲート	
(4) 寸 法	B1.90m×H1.90m	
(5) 門 数	1 門	
3－1．集川頭首工		
(1) 型 式	基礎形式：フィックスド型 ゲート型式：油圧式自動倒伏堰	
(2) 全可動部	堰長 8.00m 堰高 1.50m	
(3) ゲート型式	油圧式自動倒伏堰	
(4) 寸法径間	8.00m×直高 1.50m	
(5) 門 数	1 門	
(6) 計画取水位	EL=72.60m	
3－2．集川取水口		
(1) 形 式	鉄筋コンクリート造	
(2) 最大取水量	2.0m ³ /sec	
(3) ゲート形式	鋼製ローラーゲート	

項 目	工作物の構造又は能力	備 考
(4) 寸 法	B1.50m×H1.85m	
(5) 門 数	1 門	
【取水施設－導水路】		
4－1． 1号隧道		
(1) 型 式	標準馬蹄形	
(2) 規 格	r = 1.20m	
(3) 延 長	3,082m	
(4) 最大通水量	10.5m ³ /s	
4－2． 2号隧道		
(1) 型 式	標準馬蹄形	
(2) 規 格	r = 1.20m	
(3) 延 長	3,207m	
(4) 最大通水量	10.5m ³ /s	
4－3． 3号隧道		
(1) 型 式	標準馬蹄形	
(2) 規 格	r = 1.20m	
(3) 延 長	1,716m	
(4) 最大通水量	10.5m ³ /s	
4－4． 馬渡取付部		
(1) 型 式	標準馬蹄形	
(2) 規 格	r = 1.20m	
(3) 延 長	62m	
(4) 最大通水量	10.5m ³ /s	
4－5． 高取導水路		
(1) 型 式	標準馬蹄形	
(2) 規 格	r = 0.95m	
(3) 延 長	317m	
(4) 最大通水量	4.5m ³ /s	
4－6． 集導水路		
(1) 型 式	鉄筋コンクリート	
(2) 規 格	1.50m×1.50m	
(3) 延 長	128m	
(4) 最大通水量	2.0m ³ /s	
【取水施設－揚水施設】		
5－1． 東部揚水機場		
(1) 位 置	指宿市池田古巣 3149 の 4 番地先	
(2) 揚 水 量	0.632m ³ /s	
(3) 実 揚 程	91.0m	
(4) 全 揚 程	95.0m	
(5) 揚 水 機	立軸斜流、φ 350mm、3 台	
(6) 原 動 機	315KW、3 台	
5－2． 南部揚水機場		
(1) 位 置	指宿市開闢上野字西古場 2059 番地先	
(2) 揚 水 量	1.144m ³ /s	
(3) 実 揚 程	90.5m	
(4) 全 揚 程	93.0m	

項目	工作物の構造又は能力	備考
(5)揚水機	立軸斜流、φ400mm、3台	
(6)原動機	510KW、3台	
【取水施設－揚水施設】		
5－3．西部第一揚水機場		
(1)位置	指宿市池田石坂 5475-10 番地先	
(2)揚水量	3.125m ³ /s	
(3)実揚程	10.7m	
(4)全揚程	11.7m	
(5)揚水機	立軸斜流、φ600mm、4台	
(6)原動機	132KW、4台	
5－4．西部第二揚水機場		
(1)位置	南九州市穎娃町郡字中の迫 3794 番地先	
(2)揚水量	3.125m ³ /s	
(3)実揚程	130.6m	
(4)全揚程	135.0m	
(5)揚水機	立軸斜流、φ600mm、5台	
(6)原動機	1,200KW、5台	
【取水施設－加圧機場】		
6－1．西部2号幹線水路加圧機場		
(1)位置	南九州市穎娃町上別府老里畑 4890-3	
(2)揚水量	3.25m ³ /min	
(3)全揚程	57m	
(4)加圧機	(主)横軸片吸込渦巻、φ150mm、2台 (保圧)横軸多段渦巻、φ65mm、2台	
(5)原動機	50KW、2台	
6－2．西部4号幹線水路加圧機場		
(1)位置	南九州市穎娃町上別府宝代山の下 8628	
(2)揚水量	6.16m ³ /min	
(3)全揚程	54m	
(4)加圧機	(主)横軸片吸込渦巻、φ250mm、2台 (保圧)横軸多段渦巻、φ80mm、2台	
(5)原動機	80KW、2台	
6－3．西部8号幹線水路加圧機場		
(1)位置	南九州市知覧町西元芝口 12053	
(2)揚水量	13.32m ³ /min	
(3)全揚程	52m	
(4)加圧機	(主)横軸両吸込渦巻、φ350mm、2台	
(5)原動機	160KW、2台	
6－4．西部10号幹線水路加圧機場		
(1)位置	南九州市知覧町塩屋堅迫 14704	
(2)揚水量	9.78m ³ /min	
(3)全揚程	62m	
(4)加圧機	(主)横軸両吸込渦巻、φ300×250mm、2台 (保圧)横軸片吸込渦巻、φ100×80mm、2台	
(5)原動機	145KW、2台	

項目	工作物の構造又は能力	備考
6-5. 西部12号幹線水路加圧機場		
(1) 位置	枕崎市茅野町524	
(2) 揚水量	6.12m ³ /min	
(3) 全揚程	66m	
(4) 加圧機	(主) 横軸両吸込渦巻、φ250×200mm、2台 (保圧)横軸多段渦巻、φ80mm、2台	
(5) 原動機	100KW、2台	
【取水施設一用水路】		
7-1. 東部送水路		
(1) 支配面積	716ha	
(2) 最大通水量	0.622m ³ /s	
(3) 延長	8,093m	
(4) 構造	φ300mm ~ φ800mm	
7-2. 南部送水路		
(1) 支配面積	1,481ha	
(2) 最大通水量	1.123m ³ /s	
(3) 延長	6,503m	
(4) 構造	φ600mm ~ φ1,000mm	
7-3. 西部送水路		
(1) 支配面積	3,875ha	
(2) 最大通水量	3.083m ³ /s	
(3) 延長	21,666m	
(4) 構造	φ600mm ~ φ1,500mm	
7-4. 東部幹線水路		
(1) 支配面積	294ha	
(2) 最大通水量	0.072m ³ /s ~ 0.338m ³ /s	
(3) 延長	4,238m	
(4) 構造	φ350mm ~ φ600mm	
7-5. 南部幹線水路		
(1) 支配面積	1,481ha	
(2) 最大通水量	0.180m ³ /s ~ 0.519m ³ /s	
(3) 延長	13,098m	
(4) 構造	φ250mm ~ φ800mm	
7-6. 西部幹線水路		
(1) 支配面積	3,875ha	
(2) 最大通水量	0.092m ³ /s ~ 0.759m ³ /s	
(3) 延長	40,844m	
(4) 構造	φ300mm ~ φ1,100mm	
【取水施設一ファームポンド】		
8-1. 東部ファームポンド		
(1) 貯水量	13,800m ³	
8-2. 南部第1ファームポンド		
(1) 貯水量	11,400m ³	

項 目	工作物の構造又は能力	備 考
8-3. 南部第2ファームポンド		
(1) 貯水量	7,200m ³	
8-4. 南部調圧水槽		
(1) 貯水量	3,800m ³	
8-5. 西部第1ファームポンド		
(1) 貯水量	30,000m ³	
8-6. 西部第2ファームポンド		
(1) 貯水量	16,800m ³	
8-7. 西部第3ファームポンド		
(1) 貯水量	8,700m ³	
8-8. 西部調圧水槽		
(1) 貯水量	4,900m ³	

別紙2

【作業項目内訳表】

作業項目	作業内容	備考
1. 準備作業		
1-1. 現地調査	本業務の検討に必要な現地調査を実施し、地形、水源位置、対象施設位置及び施設状況等を把握する。	
1-2. 既存資料の把握・整理	本業務の検討に必要な貸与資料の内容を把握・整理を行い、業務計画を作成する。	
2. 施設整備計画の取りまとめ	貸与資料等に基づき、別紙3「施設整備計画取りまとめ対象施設」の設計条件、施設整備内容（仮設計画、施工計画等含む）を整理し、施設計画を取りまとめる。	
3. 長寿命化計画の見直し	過年度業務で作成された長寿命化計画及び上記作業項目の検討結果をもとに、事業計画書（案）の整備内容や工事費を反映した長寿命化計画書の見直しを行う。	
4. 土地改良事業計画書補足検討		
4-1. 土地改良事業計画書補足検討	過年度業務成果（報告書等）、関連業務成果及び上記作業項目の検討結果をもとに、所定の様式により事業計画書（案）の更新、添付図面（主要施設構造図等）の更新を行う。 事業計画書（案）の構成については、別紙4「土地改良事業計画書（案）の構成」とする。	
4-2. 事業計画書補足説明資料の更新	事業計画書（案）の補足説明資料について、上記4-1に伴う更新を行う。 なお、補足資料と別に下記事項の参考資料の取りまとめを行う。 ① 総括編 ② 資源経済編（営農・効果） ③ 一般計画編（用水計画、施設計画、事業費） ④ 水収支計算編 ⑤ 環境配慮編	
5. 河川協議資料補足検討		
5-1. 河川協議資料補足検討	過年度に作成した河川協議資料及び説明資料について、河川法施行規則第11条の規定に基づき、河川協議添付図書及び補足説明資料を作成する。	
6. 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	
7. 点検取りまとめ	業務成果資料の点検及び取りまとめを行い、報告書を作成する。	

別紙 3

【施設整備計画取りまとめ対象施設】

施設名	対象工種	備考
2-1. 馬渡頭首工	土木施設、機械設備	
2-2. 高取頭首工	土木施設、機械設備	
2-3. 集川頭首工	土木施設、機械設備	
2-4. 1号隧道	土木施設	
2-5. 2号隧道（高取導水路含む）	土木施設	
2-6. 3号隧道	土木施設	
2-7. 集導水路	土木施設	
2-8. 東部揚水機場	土木施設、機械設備	
2-9. 南部揚水機場	土木施設、機械設備	
2-10. 西部第1揚水機場	土木施設、機械設備	
2-11. 西部第2揚水機場	土木施設、機械設備	
2-12. 特別高圧変電所	土木施設、機械設備	
2-13. 加圧機場【西部幹線水路 (2号、4号、8号、10号、12号)】	土木施設、機械設備	
2-14. 用水路	土木施設	
2-14-1. 送水路・幹線水路	土木施設	
2-15. 東部ファームpond	土木施設	
2-16. 南部第1ファームpond	土木施設	
2-17. 南部第2ファームpond	土木施設	
2-18. 西部第1ファームpond	土木施設	
2-19. 西部第2ファームpond	土木施設	
2-20. 西部第3ファームpond	土木施設	
2-21. 西部サージタンク	土木施設	
2-22. 用水管理施設	建屋、水管理設備	

別紙 4

【土地改良事業計画書（案）の構成】

土地改良事業計画書（案）の更新対象となる作業項目は以下のとおりである。

項 目	更新対象
第1章 目的	○
第2章 地域及び地積	
第1節 地域	○
第2節 地積	○
第3章 現況	
第1節 気象	
1. 一般気象	○
2. 特殊気象	○
第2節 土地状況	
1. 地形、土壌	○
2. 土地利用の状況	○
3. 土地所有の状況	○
第3節 水利状況	
1. 用水状況	
(1) 用水系統	○
(2) 用水施設	○
(ア) 取水方法一覧表	○
(イ) 改修を要する施設一覧表	○
2. 排水状況	○
3. 河川状況	○
第4節 道路概況	
1. 道路概況	○
第5節 地域農業の概況	
1. 産業別就業人口	○
2. 経営耕地広狭別農業経営体数	○
3. 主要家畜頭数	○
4. 主要作物作付状況	○
5. 農業の動向	○
第6節 地域環境の概況	○
第4章 一般計画	
第1節 事業計画の要旨	
1. 要旨	○
2. 事業別面積	○
第2節 営農計画及び土地利用計画	
1. 営農計画の概要	○
2. 土地利用区分	○
3. 作付方式	○
4. 生産計画	○
第3節 用水計画	
1. 計画基準年	○
2. 計画かんがい方式	○
3. 計画用水系統	○
4. 計画用水量	○

項 目	更新対象
5. 水源計画	
(1) 水利用計画	○
(2) 用水対策	
(ア) 貯水池	×
(イ) 井堰及び自然取水口	○
(ウ) 揚水機	○
(エ) 用水路	○
第5章 主要工事計画	
第1節 用水施設	
1. 貯水池	×
2. 頭首工	○
3. 揚水機	○
4. 用水路	○
5. その他かんがい施設	○
第6章 附帯工事計画	×
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	○
第8章 環境との調和への配慮	○
第9章 事業費の総額及び内訳	○
第10章 効用	○
第11章 関連する事業	○
第12章 現況・計画図面	
1. 現況平面図	○
2. 計画平面図及び土地利用計画図	○
3. 主要構造図	○
4. 図面目録	○
注) ○：該当（計画書記載） ×：該当なし（項立てして記載し、「該当無し」と記載）	

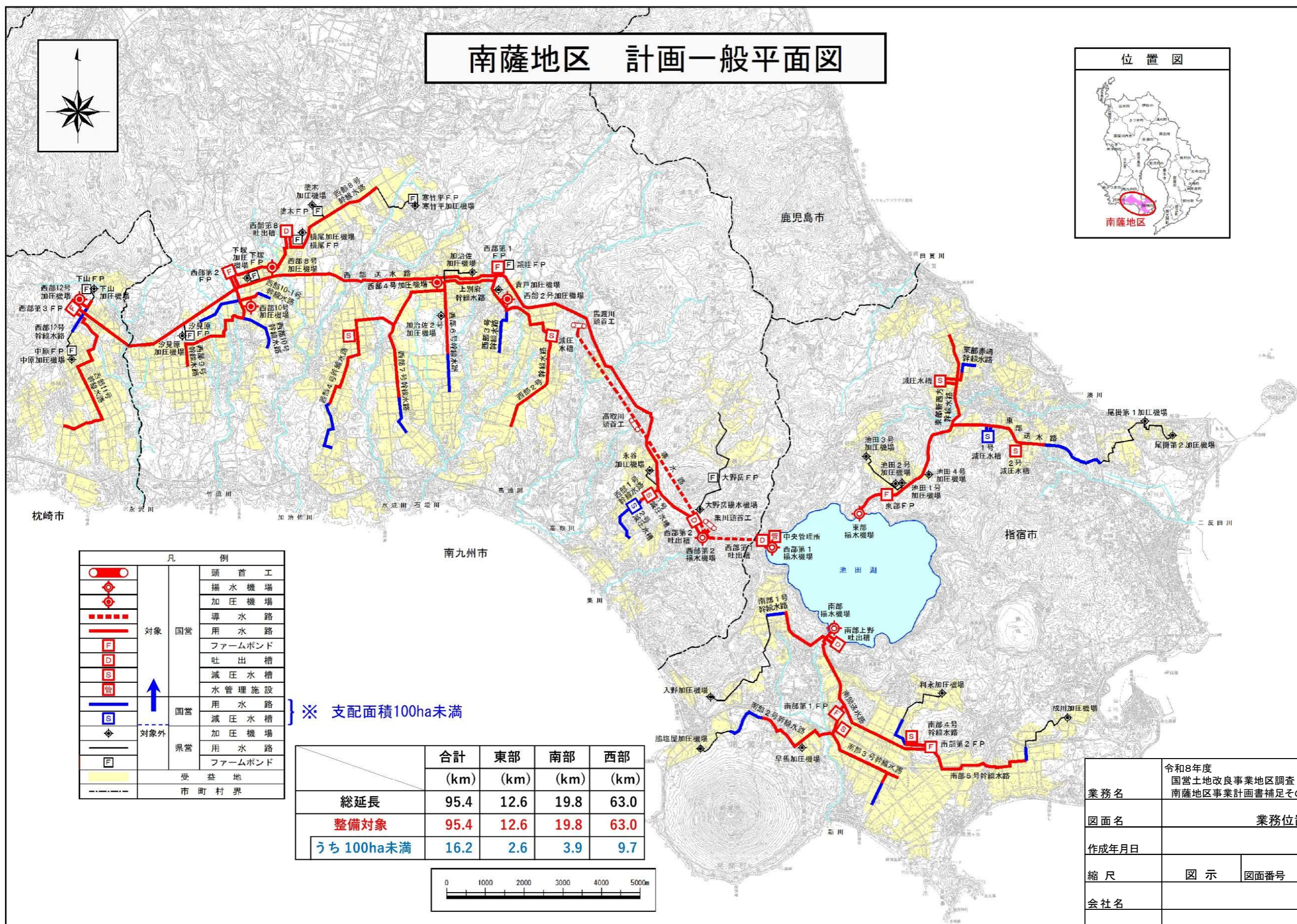
令和8年度 国営土地改良事業地区調査
南薩地区事業計画書補足その他業務

図 面 目 録

番号	名 称	枚 数	備 考
1	業 務 位 置 図	1	
計		1	

南薩地区 計画一般平面図

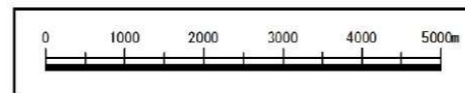
位置図



凡 例	
	頭首工
	揚水機場
	加圧機場
	導水路
	用水路
	ファームポンド
	吐出槽
	減圧水槽
	水管理施設
	用水路
	減圧水槽
	加圧機場
	用水路
	ファームポンド
	受益地
	市町村界

※ 支配面積100ha未満

	合計	東部	南部	西部
	(km)	(km)	(km)	(km)
総延長	95.4	12.6	19.8	63.0
整備対象	95.4	12.6	19.8	63.0
うち 100ha未満	16.2	2.6	3.9	9.7



業務名	令和8年度 国営土地改良事業地区調査 南薩地区事業計画書補足その他業務		
図面名	業務位置図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	1
会社名			
事務業所	九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所		

※導水路及び用水路は、ひび割れや弁類等の局所的な改修であるが、上図では便宜上、路線全体を着色している。